

令和8年度9月号

令和8年8月27日発行

東汲沢小学校 学校教育目標 **学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子**

# “ 輝け! ひぐみっ子 ” だより

学校ホームページは  
こちら



公式Instagram  
Higusta★はこちら



横浜市立東汲沢小学校  
校長 渡辺 誠

校長 渡辺 誠

## 自分の思いを言葉にする力

夏休みが明けました。夏休み中も地域やご家庭で様々な経験を重ねたひぐみっ子が、元気に学校へ戻ってきて、嬉しく思います。

さて、5月号の学校だよりでは、6年生が取り組んだ全国学力・学習状況調査の国語の問題について紹介しました。作家の辻村深月さんの文章を読み、「自分の経験と結び付けて考えたことを書く」という問題です。私は当時、「簡単な問題ではないけれど、ひぐみっ子なら、自分の経験と結び付けながら一生懸命考えることができるのではないか」と感じていました。

先日、その結果が返ってきました。

| 問題        | 問題の概要                            | 出題の趣旨                                     | 正答率(%) |      |      | 無解答率(%) |      |      |
|-----------|----------------------------------|-------------------------------------------|--------|------|------|---------|------|------|
|           |                                  |                                           | 本校     | 県    | 全国   | 本校      | 県    | 全国   |
| 3三<br>(2) | 【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く | 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる | 84.1   | 73.8 | 76.4 | 7.9     | 18.5 | 15.6 |

(令和8年度全国学力・学習状況調査 小学校国語 問題別調査結果)

この結果から見てくるのは、単に問題がよく解けたということだけではありません。5月号で紹介した「自分の経験と結び付けて考えを書く」という力が、ひぐみっ子の中に着実に育っているということです。そして、最後まであきらめずに考え続ける姿勢が育っていることもうかがえます。

私は、この力は一朝一夕に身に付くものではないと考えています。生活科や総合的な学習の時間を中心に、地域の方々との出会いを大切にしながら、実際に体験する学習を積み重ねてきました。この夏休み中にも各町内会・自治会主催のお祭り（納涼祭）が開催されていました。私も参加させていただきましたが、そこには、地域の中で生き生きと育つひぐみっ子の姿がありました。そうした体験があるからこそ、子どもたちは「自分ならどう思うか」「自分はこんな経験をしたことがある」と自分の言葉で考えることができるのだと思います。

また、本校が研究開発学校として取り組んでいる「ひぐみタイム」も大きな役割を果たしていると考えています。自分でめあてを立て、考え、友達と伝え合い、振り返る学習を大切にしています。友達との対話の中で、自分の思いを言葉にする経験を積み重ねてきたことが、今回のような成果につながっていると感じています。

もちろん、まだ課題もあります。自分の考えの根拠をより分かりやすく伝えたり、集めた情報を活用しながら論理的に表現したりする力は、さらに伸ばしていきたいと考えています。

ひぐみっ子が、自分の経験を大切にしながら、自分の思いを言葉で表現できるように。これからも、「思いをもって学び合う子ども」の育成を進めていきたいと思っています。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。